

●130以上の条約と国際機構をやさしく解説



条約・枠組み・国際ルールがわかる! 国際社会のしくみ事典

全1巻/本体4,000円+税 旬報社

新刊

●中学 ●高校 ●教師
●社会 NDC319

気候変動枠組条約、子どもの権利条約、核兵器禁止条約、WHOなど国際ニュースを理解するうえで知っておきたい130以上の条約や国際機構を解説。その歴史と最新情勢を踏まえ、国際社会についての理解を深める。

●孤児、被団協、強制退去…知られざる戦争を読む



初掲載

PEACE BOOKシリーズ

既3巻/揃本体5,200円+税 旬報社

新刊

●小学上級 ●中学 ●高校
●社会 NDC319

戦争を考える新しいパースペクティブが見つかるシリーズ。知られざる物語を掘り起こしたノンフィクション。いまこそ戦争を考える。戦争が終わり、そして子どもたちの戦いが始まった 戦後80年を生き抜いた戦争孤児の物語/日本被団協と出会う 私たちは「継承者」になれるか/ほか

●国際ニュースに関心をもつきっかけに



狙われた国と地域 (第1期)

全4巻/揃本体12,800円+税 あすなる書房

●小学上級 ●中学
●国際理解・社会 NDC319

ウクライナ、台湾、韓国。誰がその国や地域を狙い、手に入れようとしているのか、分かりやすく解説。また、その国の文化や歴史、子どもたちの日常生活についても紹介します。平和について考えるためのシリーズです。
①ウクライナ/②台湾/③韓国/④パレスチナ

●平和について考えるためのシリーズ



初掲載

狙われた国と地域 (第2期)

全4巻/揃本体12,800円+税 あすなる書房

●小学上級 ●中学
●国際理解・社会 NDC319

新刊

『狙われた国と地域 第1期』に続く、シリーズ第2期。さまざまな問題を抱えた国や地域を通して、現代の国際関係の中で平和な世界を作っていくにはどうしたらよいのか考えてみましょう。
⑤イスラエル/⑥クルド/⑦尖閣諸島/⑧アフガニスタン

●戦争をとめるために、私たちが学ぶべきこと



13歳から考える戦争入門——なぜ、戦争はなくなるのか？

全1巻/本体4,800円+税 旬報社

●中学 ●高校 ●教師・PTA・一般
●社会・国際理解 NDC319

なぜ、ウクライナや中東で戦争が起きているのか。第一次大戦後から100年で70以上起きている戦争。「なぜ起きたか」「どうなったか」「世界への影響」「ふせぐための取り組み」を図解、MAP、チャートで解説。

●高まる核使用リスク 核兵器はもういらない！



わすれないヒロシマ・ナガサキ

全2巻/揃本体7,000円+税 新日本出版社

●小学上級 ●中学 ●高校 ●教師・PTA
●社会 NDC210

新刊

唯一の戦争被爆国日本。どうして原爆は作られ、ヒロシマ・ナガサキでなにが起きたのか、わすれないことが核兵器を無くしていく力になります。核兵器廃絶を願う被爆者の声がノーベル平和賞になり、道筋を照らします。原爆はなぜ落とされた／核兵器のない世界へ

●原発事故から15年、その現実と願いを描く



初掲載

原発災害は今も それでも「ふるさと」

全3巻/揃本体7,500円+税 農文協

●小学上級 ●中学 ●高校 ●教師
●社会・防災 NDC360

新刊

原発事故から15年、放射能に故郷を追われた人々の現実と願いをつぶさに描き、原発災害を伝え継ぎ、どう生きるかを問いかける。

消えた学び舎 変わりゆくまち／帰れない山里 消えゆくわが家／消える風景 明日へのねがい

●ひめゆり学徒が今、高校生に語る真実とは



初掲載

ひめゆり学徒だった山内祐子さんが沖縄の高校生に伝えたこと

全1巻/本体1,400円+税 講談社

●小学上級 ●中学 ●高校 ●教師・PTA
●社会・読書活動 NDC210

最新刊

沖縄県立向陽高校の高校生が、当時同じ年頃の少女たちが巻き込まれた戦争について、ひめゆり学徒隊だった山内祐子さん 97歳に聞きました。山内さんが伝えたい戦争とは。

●平和学習に役立つ、長崎の原爆を学ぶセット



平和学習に役立つ 長崎の原爆を学ぶ写真絵本

全2巻/揃本体3,200円+税 大月書店

●小学初級・中級・上級 ●教師
●国際理解・総合 NDC913

長崎市立銭座小学校6年生たちが毎年、原爆について学び描いてきた絵画制作『火のトンネル』を紹介。長崎の被爆者・竹下美美さんは、長年被爆品や遺骨を収集してきました。被爆品に託した美美さんの願いとは。火のトンネル／赤いボタン

●なぜこの場所に？ どう使うの？ がわかる



初掲載

調べよう 学校の防災設備

全3巻/揃本体8,400円+税 汐文社

●小学中級・上級 ●中学 ●高校
●特別活動・社会 NDC369

最新+新刊

災害などに備え、学校や町に置かれる防災設備。実際にどのように動き、利用するかがあまり知られていません。役割や仕組みを写真と図で詳しく解説します。誰でも知っている身近な道具から、名前がわからない不思議な設備まで、さまざまなアイテムを解説。

最新刊 ③くらしをまもる——防犯カメラ、AEDほか／新刊 ①火災——防火シャッター、消火器ほか／②地震・津波——救助袋、防災ヘルメットほか